

第54回東海地区公立小中学校事務研究大会愛知大会

11月25日、蒲郡市民文化会館において、第54回東海地区公立小中学校事務研究大会愛知大会に参加させていただきました。

大会テーマ 「学校・家庭・地域、次代へつなぐ学校事務の創生」

目的 「子どもたちの豊かな育ちの実現」をミッションとした学校事務職員の役割を考え、自らを高め合い、「協働」をもとにした学校事務を追求し、教育の充実と発展に寄与する。

三重県津支部

分科会テーマ「事務改善からつなげる教育支援について」

財務事務をもとに、事務改善を通じて教育課程に踏み込んでいく実践事例の紹介。1つは、市独自の備品システムと教材整備指針を使った予算要望の提示について。もう1つは、GIGA スクール構想を通じて、学校予算を検証し、学校事務職員としての提案をしていく過程についての紹介。



愛知県研究開発部

分科会テーマ「学校事務サイコウ論」

業務の取り組み方や共同学校事務室の組織と機能から愛知の学校事務を「再考」する。そして、学校の教育目標実現のために学校経営の改善や教育活動の高質化を目指す学校事務職員を「企画提案型事務職員」と位置づけ、これからの働き方と共同学校事務室のあり方の「再構」の提案。



岐阜県可児郡

分科会テーマ「笑顔でつながる 安心・安全な学校をめざして」

御嵩町（組合立を含む）の特色ある、規模も異なる6校の小中学校で、経験年数や立場も様々な6人の事務職員が、日々取り組んでいることの中から、環境整備・事務の効率化・業務のスリム化について、研究・実践してきたことの発表。



静岡県志太地区

分科会テーマ「子どもたちの笑顔のために 私たちができること」

数々の実践の中から、学校内外の他職種と協働することで、学校諸会費における未収等の課題解決に着手した事例の紹介。

また、共同学校事務室設置から数年が経過し、チームとしての協働体制も軌道に乗り始めた「協働・支援」に重点を置いた活動の紹介。



学校事務実践レポート

全事研が募集している「学校事務実践」へ以下のレポートを提出しました。どのレポートも、事務職員が主体的に経営参画する様子が伝わってきます。

服織西小学校 瀬戸尾 高貴さん

「総額裁量制を活用するために」

「GIGA スクール構想への対応～本校のためにできること～」

「初挑戦～1年目の違和感を大切に～」

ご応募ありがとうございました！